

政策シート

政策名 03 生涯学習を享受できる機会の充実

予算費目名 01 生涯学習費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 06 文化・生涯学習

理想の姿 (30年後)	◆創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。
----------------	-------------------------------

政策の柱 (10年後)	◆音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。 ◆多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。
----------------	---

基本政策 01 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

- 市民がいつでも、どこでも、だれでも学べる学習環境づくりのため、生涯学習機会の提供を行います。
- 各地域で、市民の学習成果を発揮する機会を提供します。
- 生涯学習施設の管理運営及び施設整備を行います。

(3) 関連するSDGsのゴール

④教育							
-----	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	2,271,754	1,073,321	806,951			
決算	2,234,796	1,004,770				
人件費(報酬等)(A)	184	164				
人件費(人工分)(B)	44,100	44,800	44,800			
年間経費(予算又は決算+A+B)	2,279,080	1,049,734	851,751			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
学習成果活用事業における講座数(講座)	講座	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	81	80				
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

- 市民がいつでも、どこでも、だれでも学べる学習環境づくりのため、生涯学習機会の提供を行いました。
- 各地域で、市民の学習成果を発揮する機会を提供しました。
- 生涯学習施設の管理運営及び施設整備を行いました。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
------	------

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新しい生活様式を踏まえる中で、「『楽しみ』や『生きがい』が見つかるまち・浜松」を目指して、いつでも、どこでも、だれでも学べる学習環境づくりや学習成果を適切に生かすことのできる機会の提供、生涯学習施設の管理運営及び施設整備を行いました。特に、学習成果活用事業では、市民が主体的に学習活動に取り組む場や、日常生活や社会生活の中で培ってきた知識や経験等の学びを社会に還元する機会を創出することができました。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	社会教育委員会運営事業	○	—	○	○							
2	生涯学習機会提供事業	○	○	○		86,828	68,208	2.5				0.4
3	生涯学習施設運営事業	○	○	○		738,106	723,126	2.1				0.1
4	生涯学習運営事業	—	—	—		6,697	5,997	0.1				
5	学習等供用施設整備事業	—	—	—		5,689	4,989	0.1				
6	(新規)生涯学習デジタル 運営経費	—	—	—		2,443	1,463	0.1				0.1
7	生涯学習運営経費(一般諸 経費のみ)	—	—	—		11,988	3,168	1.1				0.4
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						851,751	806,951	6.0				1.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 社会教育委員会運営事業 【完了】

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

浜松市生涯学習推進大綱の推進状況の管理や生涯学習推進の方向性並びに取組内容等に対する協議を行うため、委員による会議を行うとともに、委員会提案による事業を実施し、生涯学習・社会教育の推進を図ります。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H25	—	一般会計	自治事務	社会教育法、浜松市社会教育委員条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-3(1)ア						
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育						
事業とゴールの関連性	本事業は、浜松市の生涯学習推進大綱の推進状況の管理や生涯学習推進の方向性並びに取組内容等に対する協議を行うものであり、ゴール④「教育」と関連がある。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	2,087	2,247				
	決算	1,706	747				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	1,706	747				
人件費(報酬等)(A)		184	164				
人件費(人工分)(B)		13,440	14,280				
人工	正規	1.8	2.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.3	0.1				
年間経費(予算又は決算+A+B)		15,330	15,191				

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
大学との連携事業による講座数(講座)			目標	50	50	50	50	50	50
			実績	62	38				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 06 基本政策 01 政策 03 予算費目 01 所属コード 000620000 事業 01 (担当課) 創造都市・文化振興課 (責任者) 久米 章史 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

○社会教育委員会運営事業

- ・社会教育委員会を開催(年間3回の会議、1回の視察研修)し、浜松市生涯学習推進大綱の推進状況の管理や生涯学習推進の方向性並びに取組内容等に関する協議や視察を行いました。
- ・関東ブロックで開催される社会教育研究大会や政令指定都市で開催される社会教育関係会議に書面参加し、情報交換や資質の向上を図りました。
- ・大学との連携により、大学生による講座を実施し、学習成果を発揮する機会の充実を図るとともに地域課題の解決に向けた学習を進めました。

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・社会教育委員会を開催(会議3回、視察研修1回)し、人生100年時代の生涯学習・社会教育に係る協議や「浜松市生涯学習推進大綱」の進捗状況の管理等において、具体的な事業内容や今後の方向性について協議しました。
- ・「市と大学との連携事業～大学生による講座」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新しい生活様式を踏まえた講座内容を検討し、感染対策を十分に行ったうえで、浜松学院大学・静岡文化芸術大学・常葉大学・静岡大学・聖隷クリストファー大学と連携し、大学の専門分野を生かした38講座を開催しました。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、社会教育委員会のオンライン参加を可能にしました。また、浜松市と大学との連携事業成果報告会をオンライン開催としました。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

「市と大学との連携事業～大学生による講座」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新しい生活様式を踏まえた講座内容を検討し、感染対策を十分に行ったうえで、浜松学院大学・静岡文化芸術大学・常葉大学・静岡大学・聖隷クリストファー大学と連携し、大学の専門分野を生かした38講座を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講座数はR1年度に比べ減少しましたが、17種類の講座を開設でき、132人の学生講師が活躍してくれました。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

※R3年度以降は、本事業を「生涯学習機会提供事業」にて実施するとともに、社会教育委員会に係る事務的経費は、「生涯学習運営経費」にまとめて計上。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

事業シート (事業名) 02 生涯学習機会提供事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民がいつでも自由に学び、地域社会への参画や地域の人々と交流ができる機会を提供することにより、豊かな人間性を育みます。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H3	—	一般会計	自治事務	教育基本法、生涯学習振興法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	II-2(1)ア						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	9	25	76	79	127		

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育							
事業とゴールの関連性	市民がいつでも自由に学び、地域社会への参画や地域の人々と交流ができる機会を提供することを目的としているため、ゴール④と関連がある。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	66,409	64,296	68,208			
	決算	60,651	40,539				
	国・県支出	6,675	6,675	6,675			
	市債						
	その他	3,289	21,219	18,623			
	一般財源 一般会計繰入金	50,687	12,645	42,910			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		5,180	7,840	18,620			
人工	正規	0.7	1.0	2.5			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.3	0.4			
年間経費(予算又は決算+A+B)		65,831	48,379	86,828			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
学習成果活用事業における講座数 (講座)			目標	100	100	100	100	100	100
			実績	81	80				
ITキッズプロジェクトの対象拡充(対象)		9,76,79	目標	小3~中3	小3~中3	小3~中3	小3~中3	小3~中3	小3~中3
			実績	小3~中3	小3~中3				
全国レベルのコンテスト入賞者数 (累計)	II-2(1)ア		目標	15	16	20	21	22	23
			実績	15	19				
アクティブ・シニア講座受講者数 (人)		25,127	目標	12,000	12,200	12,400	12,600	12,800	13,000
			実績	10,584	4,922				
大学との連携事業による講座数(講座) ※R2年度までは社会教育委員会運営 事業にて実施			目標	50	50	50	50	50	50
			実績	62	38				

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
06 01 03 01 000620000 02 創造都市・文化振興課 久米 章史 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

○学習成果活用事業

・生涯学習施設を拠点として、市民が日常生活や社会生活の中で培ってきた知識、経験等の学びを、社会に還元する機会を提供しました。

【R1-R4重点戦略項目№9、76、79】

○子どもの才能を伸ばす課外講座開催事業(負担金)

・将来の地域産業を担う人材を育成するため、産学官連携による、優れた子どもの才能を伸ばす特別課外講座を実施しました。

【R1-R4重点戦略項目№25、127】

○アクティブ・シニア講座開催事業

・「70歳現役都市・浜松」の実現に向け、高齢者を地域社会を支える人材と捉え、地域社会への参画と学びの循環の構築を図ることを目的とした講座を実施しました。

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・学習成果活用事業では、市民が主体的に学習活動に取り組む場や、日常生活や社会生活の中で培ってきた知識や経験等の学びを社会に還元する機会を創出することができました。

・「浜松ITキッズプロジェクト」では、小学校3年生から中学校3年生までを対象とし、講座を実施しました。

・「アクティブ・シニア講座」では、趣味・教養といった自己完結的な学習にとどまらず、現代的課題の解決や職業生活で得た知識・経験の活用等、地域社会への参画と学びの循環の構築を図ることを目的とした講座を実施しました。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえ、「新しい生活様式」に対応した講座内容の見直しを行いました。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・「浜松ITキッズプロジェクト」では、小学校3年生から中学校3年生までを対象とし、講座を実施しました。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・学習成果活用事業では、市民が主体的に学習活動に取り組む場や、日常生活や社会生活の中で培ってきた知識や経験等の学びを社会に還元する機会を創出します。

・ITキッズプロジェクトでは、将来において国内外で活躍する人材の育成を図るために、小学校だけでなく、中学校での学びも充実させていく必要があります。また、WRO(ワールド・ロボット・オリンピック)の決勝大会を令和4年度に本市で開催するための準備を進めます。

・アクティブ・シニア講座では、受講者の学びの充実、社会への還元のために講座内容を工夫します。

・R2年度までは、「市と大学との連携事業～大学生による講座」は社会教育委員会運営事業にて実施していましたが、R3年度以降は、事業の統合により本事業で管理します。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

○学習成果活用事業

・生涯学習施設を拠点として、市民が日常生活や社会生活の中で培ってきた知識、経験等の学びを、社会に還元する機会を提供します。

【R1-R4重点戦略項目№9、76、79】

○子どもの才能を伸ばす課外講座開催事業(負担金)

・将来の地域産業を担う人材を育成するため、産学官連携による、優れた子どもの才能を伸ばす特別課外講座を実施します。【R1-R4重点戦略項目№25、127】

・WRO(ワールド・ロボット・オリンピック)の決勝大会を令和4年度に本市で開催するための準備を進めます。

○アクティブ・シニア講座開催事業

・地域の人々の生きがいつくりの推進による「70歳現役都市」の実現を目指し、高齢者を地域社会を支える人材と捉え、地域社会への参画と学びの循環の構築を図る講座を提供します。

○新規人材育成事業

・生涯学習講師登録者に向けて、スキルアップ、レベルアップできる養成講座を実施するとともに、新たに講師として活躍できる人材発掘に努めます。また生涯学習ボランティアを幅広く募集し、地域や学校等教育施設において活躍できる機会を提供します。

○「市と大学との連携事業～大学生による講座」

・大学との連携により、大学生による講座を実施し、学習成果を発揮する機会の充実を図るとともに地域課題の解決に向けた学習を進めていきます。

事業シート (事業名) 03 生涯学習施設運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

生涯学習施設の管理運営及び施設整備を行います。また、浜松科学館について、展示と講座で、科学の原理や技術に関心を持たせ、観察や実験を通して科学的な考え方を養う「科学する心」を育成します。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S36	—	一般会計	自治事務	浜松科学館条例他

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	II-2(1)イ						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	183						

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育							
事業とゴールの関連性	生涯学習施設の管理運営及び施設整備を行うとともに、浜松科学館について、展示と講座で、科学の原理や技術に関心を持たせ、観察や実験を通して科学的な考え方を養う「科学する心」を育成することを目的とするため、ゴール④教育と関連がある。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	2,180,604	991,825	723,126			
	決算	2,154,162	954,659				
	国・県支出		41,192				
	市債			12,600			
	その他	20,343	252,672	58,983			
	一般財源	2,133,819	660,795	651,543			
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		17,080	14,280	14,980			
人工	正規	2.4	2.0	2.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.1	0.1			
年間経費(予算又は決算+A+B)		2,171,242	968,939	738,106			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
浜松科学館来館者アンケートによる満足度の維持(%)			目標	70	70	90	90	90	90
			実績	91	95				
浜松科学館の来館者数(人)		183	目標	187,500	255,000	260,000	265,000	270,000	275,000
			実績	248,155	97,730				
生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心が満たされていると思う人の割合(%)	II-2(1)イ		目標	33	33	33	34	34	35
			実績	33.1	30.5				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
06 01 03 01 000620000 03 創造都市・文化振興課 久米 章史 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

【R1-R4重点戦略項目№183】

○科学館運営事業

- ・常設展、夏季の特別イベント、プラネタリウム等の管理運営を行いました。
- ・子ども事業、企業・大学等との共催事業、学校地域連携事業、相談事業等を開催しました。
- ・ホール、セミナールームの貸館業務、科学館学習情報システムの運用を行いました。

○クリエート浜松運営事業、浜北文化センター運営事業、なゆた・浜北運営事業、万葉の森公園運営事業、天童壬生ホール運営事業、雄踏文化センター運営事業、みをつくし文化センター運営事業、引佐多目的研修センター運営事業、三ヶ日文化ホール運営事業、春野文化センター運営事業、佐久間歴史と民話の郷会館運営事業、水窪文化会館運営事業、龍山森林文化会館運営事業、生涯学習施設整備事業

- ・各施設の設置目的を達成するために、管理運営及び施設整備を行いました。

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

令和2年4月～5月末までは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館したが、再開後の7月12日には、約1年(臨時休館期間を除くと約9か月)でリニューアル後の常設展入場者数が20万人を達成しました。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、サイエンスショーやミニワークショップ等の開催内容を見直し、事業を行いました。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

夏季特別イベント「ヒラメキ ナゾトキ みらいーら」を7月21日から8月31日まで開催しました。好評につき、9月から12月末まで土日祝限定で開催を継続し、合計で1,492人が参加しました。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

科学教育の拠点施設として、より魅力的な施設となるよう、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、事業(講座、イベント等)の充実や関係機関のネットワーク強化を図ります。また、令和3年度にプラネタリウムの機器更新を行います。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【R1-R4重点戦略項目№183】

○科学館運営事業

- ・常設展、特別展、プラネタリウム等の管理運営を行います。また、プラネタリウムの機器更新を行います。
- ・子ども事業、企業・大学等との共催事業、学校地域連携事業、相談事業等を開催します。
- ・ホール、セミナールームの貸館業務、科学館学習情報システムの運用を行います。

○クリエート浜松運営事業、浜北文化センター運営事業、なゆた・浜北運営事業、万葉の森公園運営事業、天童壬生ホール運営事業、雄踏文化センター運営事業、みをつくし文化センター運営事業、引佐多目的研修センター運営事業、三ヶ日文化ホール運営事業、春野文化センター運営事業、佐久間歴史と民話の郷会館運営事業、水窪文化会館運営事業、龍山森林文化会館運営事業、生涯学習施設整備事業

- ・各施設の設置目的を達成するために、管理運営及び施設整備を行います。

事業シート (事業名) 04 生涯学習運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

教育文化会館の閉館に伴い、適正な維持管理を行うとともに、アクトシティ浜松のホールを利用する学校教育団体に対して、利用料金の負担軽減を実施(市民音楽ホールの施設貸出開始前(原則、令和3年6月の利用分)まで負担軽減を実施)することで、生涯学習機会の確保を図ります。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S29	—	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育							
事業とゴールの関連性	生涯学習施設の管理を行うとともに、生涯学習機会の確保を目的としており、ゴール④教育と関連がある。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	5,706	9,251	5,997			
	決算	5,516	4,696				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	5,516	4,696	5,997			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700			
人工	正規	0.1	0.1	0.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		6,216	5,396	6,697			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
旧教育文化会館の適正な管理(周辺清掃等)			目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施
			実績	実施	実施				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

○教育文化会館事業

- ・旧教育文化会館の管理を行いました。
- ・アクトシティ浜松のホールを利用する学校教育団体に対して、利用料金の負担軽減を実施することによる指定管理者減収分に対して補填を行いました。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・旧教育文化会館の維持管理(周辺の清掃、樹木整備)を行い、施設を適正に管理しました。
- ・アクトシティ浜松のホールを利用する学校教育団体に対して、利用料金の負担軽減を実施することで、生涯学習機会の確保を図るとともに、指定管理者に対しては利用料金の減収分を確実に補填しました。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・年間を通じて、旧教育文化会館の適正な維持管理を行いました。
- ・アクトシティ浜松のホールを利用する学校教育団体に対して、利用料金の負担軽減を実施することで、生涯学習機会の確保を図りました。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・旧教育文化会館の適正な維持管理を継続します。
- ・アクトシティ浜松のホールを利用する学校教育団体に対して、利用料金の負担軽減を実施することで、生涯学習機会の確保を図ります(市民音楽ホールの施設貸出開始前(令和3年6月の利用分)まで負担軽減を実施)。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

○教育文化会館管理事業

- ・旧教育文化会館の管理を行います。
- ・アクトシティ浜松のホールを利用する学校教育団体に対して、利用料金の負担軽減を実施することによる指定管理者減収分に対して補填を行います(市民音楽ホールの施設貸出開始前(原則、令和3年6月の利用分)まで負担軽減を実施)。

事業シート (事業名) 05 学習等供用施設整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

航空自衛隊浜松基地飛行場周辺で、飛行訓練の騒音により生活環境に著しい障害を受けている地域において、学習等供用施設を整備し、地域の人々の身近な学習・コミュニティ活動に貢献します。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S41	—	一般会計	自治事務	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

	④教育
事業とゴールの関連性	航空自衛隊浜松基地飛行場周辺で、飛行訓練の騒音により生活環境に著しい障害を受けている地域において、学習等供用施設を整備し、地域の人々の身近な学習・コミュニティ活動に貢献することを目指しているため、ゴール④「教育」と関連がある。

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	13,332	2,195	4,989			
	決算	10,282	2,090				
	国・県支出						
	市債						
	その他	5,140	1,045	2,494			
	一般財源	5,142	1,045	2,495			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700			
人工	正規	0.1	0.1	0.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		10,982	2,790	5,689			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
利用者数(人)			目標	274,000	275,000	276,000	277,000	278,000	280,000
			実績	252,193	129,054				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
06 01 03 01 000620000 05 創造都市・文化振興課 久米 章史 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

令和2年度は、恒武会館の空調設備改修工事を実施しました。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

学習等供用施設は、ほぼ例年どおりの活用状況で推移しており、地元自治会をはじめとした地域の市民による学習等の活動に利用されました。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

令和2年度は、恒武会館の空調設備改修工事を実施しました。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も地元自治会からの要望を受け、学習等供用施設の改修を進めていきます。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

地元自治会からの要望を受け、学習等供用施設の改修を進めていきます。

事業シート (事業名) 06 (新規)生涯学習デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

創造都市・文化振興課(生涯学習費)のデジタル関連事業に要する経費

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
R3				

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算			1,463			
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他			1,463			
一般財源							
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)				980			
人件費(人工分)(B)				0.1			
人工	正規			0.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.1			
年間経費(予算又は決算+A+B)				2,443			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
浜北文化センター インターネット回 線整備・運用			目標			整備・運用	運用	運用	運用
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 06 基本政策 01 政策 03 予算費目 01 所属コード 000620000 事業 06 (担当課) 創造都市・文化振興課 (責任者) 久米 章史 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・浜北文化センターへのインターネット回線を整備するとともに、回線使用料の支払いを行う。
- ・創造都市・文化振興課内に設置されている学校管理運営システム用パソコンのADSL使用料を支払う。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・浜北文化センターへのインターネット回線を整備するとともに、回線使用料の支払いを行う。
- ・創造都市・文化振興課内に設置されている学校管理運営システム用パソコンのADSL使用料を支払う。

事業シート (事業名) 07 生涯学習運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

創造都市・文化振興課(生涯学習費)の一般事務に要する経費

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	3,616	3,507	3,168			
	決算	2,479	2,039				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	2,479	2,039	3,168			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	7,000	7,000	8,820			
人工	正規	0.8	0.8	1.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5	0.4			
年間経費(予算又は決算+A+B)		9,479	9,039	11,988			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
06 01 03 01 000620000 07 創造都市・文化振興課 久米 章史 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・R2年度までは、社会教育委員会に係る事務的経費を「社会教育委員会運営事業」で計上していたが、一般事務に係る経費と合わせ、「生涯学習運営経費」に統一して計上。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

